

百人町四丁目連絡会～大学生とのお手紙プロジェクト～

百人町四丁目連絡会は、百人町四丁目アパート10号棟から17号棟などの方々に構成された町会で、ボランティアの大学生と連携して、様々な地域活動を行っています。

大学生との交流の経緯

大学生との交流は、東日本大震災の際に始まりました。東北地方で被災された方々が百人町四丁目アパートに避難され、その支援をボランティアの大学生とともに行ったことが交流のきっかけです。

活動をしていくうちに、町会のイベントや地域課題（防災等）解決に向けた取り組みも一緒に行うようになりました。



【イベント企画の様子】



【町会の防災倉庫】

大学生とのお手紙プロジェクト

コロナ禍で対面での活動が難しくなってからも、大学生との交流はお手紙によって継続されています。

○活動のきっかけ

夏祭りや交流会が中止となる中、大学生からお手紙での交流ができないかとの提案がありました。

○活動方法

大学生から日常生活や健康状況等についてお手紙を書き、住民がその返事を書くといった方法で始まり、現在は往復ハガキで行っています。

○お手紙（ハガキ）での交流の感想

【百人町四丁目連絡会のみなさん】

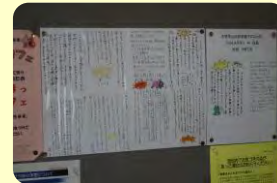
- ・ハガキをもらうのは久しぶりなので、とても新鮮で嬉しいです。
- ・ハガキを書いて交流を続けようとしてくれる大学生の心遣いがあります。

【大学生】

- ・ハガキを書くのも楽しいのですが、皆さんからお返事をいただいたときは、とても嬉しかったです。
- ・ハガキに書くことを見つけるために、散歩などに出かけるようになりました。

【やり取りされたお手紙の写真】

令和2年10月
から今までに
約100通のやり
取りをしています。



お手紙は、
掲示板で皆が見
られるようにし
ています。

【町会のみなさんと大学生】



【百人町四丁目連絡会 大坂会長】

住民は大学生との交流を楽しみにしています。大学生にとっても、百人町四丁目連絡会との交流が、自分が住んでいる地域の活動にも参加したり、自分自身の祖父母のことを考えるきっかけになれば良いと思っています。

【ボランティアの大学生のお二人】

コロナが収束したら、またみんなで祭りなどの町会のイベントを企画したいです。

現在は、コロナの影響でサークル活動が縮小されていますが、新入生を集めて、今後もボランティア活動をしていきたいと思っています。

